

平成 28 年 度

幼稚園教員資格認定試験

教職に関する科目(Ⅲ)

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 受験番号及び氏名を解答用紙の指定された欄に記入してください。なお、受験番号及び氏名は2枚とも必ず記入してください。
3. 解答は、全て所定の欄に記入してください。指定された欄以外に記入されたものについては、採点の対象となりません。
4. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから70分です。
5. 試験が終わるまで退室できません。
6. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。
7. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
8. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。

文部科学省は、「運動習慣の基盤づくりを通して、幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力の基礎を培うとともに、様々な活動への意欲や社会性、創造性などを育むことを目指し」、平成24年に「幼児期運動指針」を策定した。これに関連して、三つの問いに答えなさい。

【問1】

本指針には、「幼児期の運動は、一人一人の幼児の興味や生活経験に応じた遊びの中で、幼児自らが体を動かす楽しさや心地よさを実感することが大切である」と示されている。このことを踏まえ、幼稚園において体を動かす指導の具体例を一つ挙げ、その指導に当たっての留意事項について、二つ以上挙げて具体的に説明しなさい。

【問2】

本指針には、「幼児期における運動の実践は、心身の発育に極めて重要である」と示されている。このことを踏まえ、幼児期の発達の特徴を二つ挙げ、それぞれ具体的に説明しなさい。

【問3】

次の事例は、3年保育における4歳児の10月の一場面である。この事例における遊びの工夫と広がりをもつ指導の観点を三つ挙げ、さらにそれぞれの観点について事例に即して説明しなさい。

3～4人の幼児が園庭で追いかけてっこをしている場面に保育者が通りかかると、突然A児が嬉しそうに「先生。タッチ！」と言って逃げていった。A児の突然の動きが楽しそうだったので、もっとみんなでおもしろく遊ぶことができないかと考え、保育者は「サメだぞう、食べちゃうぞー」と言い、手で口の動きを真似しながら近づいて行った。すると「キヤー！」と嬉しそうな歓声を上げた。数名の幼児が散り散りに逃げていった中で、B児は偶然ジャングルジムに登った。保育者はB児の下で、「海の中に降りてこないよ、捕まえられる。悔しいなあ」とみんなに聞こえるように言いながら、ジャングルジムの周りをグルグルと回った。B児は保育者(サメ)から遠ざかろうと、ジャングルジムの1段目に登ったまま、棒をしっかりと握り一生懸命横へ移動している。保育者の「食べちゃうぞ」の声に、「サメさん、こっちだよ」と言いながら、他の幼児も近づいてきた。保育者が追いかけると、急いで太鼓橋に登った。他にも築山や、地面より高い段を見つけて登る幼児も出てきた。

特にルールを決めて遊び始めたのではないが、幼児なりに遊び方を考えたようだ。保育者も初めは捕まえるふりをしているだけだったが、徐々に本当に捕まえるようにしたところ、逃げる幼児のスピードが上がり、スリル感も増してきた。どの子もサメに捕まらないよう身をかかわしながら、思い切り走り、高いところに登ったり降りたりを繰り返しながら、全身を使って遊んだ。

〈文部科学省『幼児期運動指針ガイドブック』平成24年3月、40ページより引用〉